

フモニシン評価書（骨子案）

I. 背景

1. 経緯
2. 現行規制等
 - (1) 国内規制等
 - (2) 諸外国等の規制又はガイドライン値

II. 評価対象

III. 評価対象物質の概要

1. 名称、分子式、分子量、構造式
2. 物理化学的特性
3. 産生生物

.....【別冊】

IV. 安全性に係る知見の概要

1. 実験動物等における体内動態
 - (1) 吸収、分布、代謝、排泄
 - (2) 酵素及び他の生化学的パラメータへの影響
 - (3) 実験動物等における体内動態のまとめ

2. 実験動物等における毒性

- (1) 急性毒性
- (2) 亜急性毒性
- (3) 慢性毒性・発がん性
- (4) 生殖発生毒性
- (5) 遺伝毒性
- (6) その他（神経毒性、免疫毒性等）

.....【別冊】

(7) 毒性発現の機序

.....【資料5】

(8) 毒性試験のまとめ

.....【資料1】

3. ヒトにおける知見

- (1) 各国におけるばく露量
- (2) 疫学研究
- (3) ヒトにおける知見のまとめ

.....【別冊】

4. ばく露評価

- (1) 日本における汚染実態
- (2) 日本におけるばく露量の推定
- (3) 加工・調理による影響

5. 諸外国における評価

.....【別冊】

- (1) FAO/WHO 合同食品添加物専門家会議（JECFA）
- (2) 欧州食品安全機関（EFSA）
- (3) 国際がん研究機関（IARC）

V. 食品健康影響評価

＜別添＞

- ・マスクドフモニシン又はモディファイドフモニシン
- ・ウマの白質脳軟化症（ELEM）及びブタの肺水腫（PPE）【別冊】
- ・BMDL₁₀の試算【資料3】

＜略称＞

＜参考文献＞